

## 議 事 録

件 名	平成29年度第1回大網白里市環境審議会
日 時	平成29年4月28日(金) 10:00~11:35
場 所	大網白里市役所 別棟2階大会議室
出席委員	鈴木弘孝(会長)、内山佐智子、上田弘子(副会長)、板倉功尚、矢部慎一、石井敏夫、木田進、片岡泰隆
欠席委員	佐久間浩一、小栗山喜一郎
事 務 局	地域づくり課 岡部課長、深山副課長、佐久間班長、稲生副主査
配付資料	別添のとおり
内 容	<p><b>【1 開会】</b>  進行：事務局(地域づくり課 深山副課長) 別紙次第のとおり  新規委員紹介</p> <p><b>【2 会長あいさつ】</b>  鈴木会長</p> <p><b>【3 議題】</b>  (1) 第2次環境基本計画骨子案について  資料に基づき事務局より説明。  《質疑応答・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画改定に至る経緯で国や県の取組、また市の環境都市宣言を記載してあるが、市でも大網白里市地球温暖化対策実行計画を策定している。市の組織内の計画であるが記載してもいいのではないか。  ⇒記載を考えていたが、庁内の計画であったため見送った。記載を検討します。</li> <li>・P7のごみ減量への取組が書いてあるが、家庭から出る廃油の回収は行っていますか。行っていれば記載も。  ⇒市内3カ所で行っています。</li> <li>・P8で太陽光発電のことが書かれているが、メガソーラーはもう市内に設置されているのか。  ⇒細草ですでに設置されている。光の反射や設置工事に係る大型車両の通行で問題がある。しかし、まだ国の規制がはっきりしていない中なのでこのように記載している。エネルギーとして推進していくのか、景観などから規制していくのか二面性があるものである。議会でも質問があり市のスタンスを決めていかななくてはならない。</li> <li>・事業で太陽光パネルを設置して事業税がかかるのか。  ⇒第2次の計画は4つの分野分けを行うことはとても良いことだと思う。</li> <li>・環境像などに「豊かな自然を次世代に残す」のような表現を入れてみてもいいのでは。</li> <li>・第4章の生活環境分野で下水道・排水対策があるが、アンケートで川や海に関することがよくない結果になっているので、当たり前のことだが、下水道の整備や浄化槽の普及率があがり改善していくもの。せっかく下水</li> </ul>

道区域になっても接続しない方もいるので、下水道を接続するにあたって何か補助などあるのか。

⇒逆に負担金をもらっています。

・排水対策は、合併浄化槽がどれぐらい設置されているのか、整備計画に沿って進めてもらいたい。自分が保健所にいたときには、下水道が整備されていない地域に県と市町村職員で回った。このような細かいことも必要では。

・空き家の対策で今にも壊れそうな建物もあるのでこれからは重要になる。

・現在、地球温暖化対策実行計画は市庁舎内のものであるが、大きな市になると市全体の計画が義務付けられている、市全体でも温暖化対策の活動や啓発が必要では。

⇒検討部会などで協議し反映していきたい。

・第1次計画でも実行されていないものもあるが、絵に描いた餅にならないようにして少しでもいい方向になるように。

⇒第2次計画では、調整会議や検討部会で今後10年間で実際に行っていく実現できるものというコンセプトがある。

・市のホームページに環境家計簿というのがあるが、せっかくいいものがある。難しいものではなく簡単なものでこのようなものが出来ないか。

・大網白里市は空気がきれい。喘息で引っ越してきた方が喘息が治ったという話も聞いている。何か要因があるのか。

・県の方で空気を汚す恐れがある工場等の規制など行っているが山武地域では他の地域と比べて少ないといいますか汚染源となるものが少ないことが影響しているのではないか。

・緑が豊富で、海からの風で空気が流れているのが影響していると思う。

・空気がきれい、水がきれいというのは財産になりますね。

・千葉市から帰って来て大網白里市に入ったらすごく空気がいい。気持ちがいい。

・子どもが小さいときに自分の知り合いでも喘息が良くなったなどの話があった。

・森があるということだが、ただあるだけではなく手を入れないと森がだめになるという課題もあると前回伺ったが。

・木材が安く、従事する者も高齢化が進み、山林では生活ができない。自分の山がどこにあるか分からない所有者もいる。また、山林に入ってきてタケノコ堀などで荒らされることもある。掘ったら掘ったままにされる。

・山から水が流れてくるので繋がりのところをしっかりとしなければいけない。

・4つに分野分けをしたことはとても分かり易くなっている。その中にある地球環境は、どこまで一人がどうできるのか、みんなにうまく浸透していけるのか。

・浄化槽に関しては、自分の家が小中川の末端にあり昔は大きなシャボン玉が川に出来ていたが現在は良くなった。石鹼や洗剤が排出されなくなったせいであろう。生活環境は大きな問題である。

・12年前から小中川の観察を子どもたちと行っているが、水の流れはそれほど変わっていない。山の上の方はどれだけきれいか、市街になると生活雑排水が出てくるなど子ども達に教えている。みんなに知らせる方法があればもっといろいろなことで広がりが出てくるのではないかと思ってい

る。

・四天木沼があり海へ堀川という川になっている。生活雑排水を魚が浄化してくれるが、カワ鵜が魚を食べてしまうのでカワ鵜をなんとかしてもらいたい。

・波乗り道路の嵩上げ工事でハマヒルガオがなくなってしまうのでは。

・ハマヒルガオはまだあるが、ハマボウフがなくなったのでこれから復旧させて行きたい。

・海岸での外来種の影響はどうか。

⇒海岸ではそうでもないが、川など影響がある。また、オオキンケイギクが多く咲いておりきれいなので皆植えている。栽培禁止を徹底させなくてはならない。

・生活雑排水が原因で川が汚れているのが一番の原因である。下水道が整備されていない地域では浄化槽を設置するが、浄化槽の設置後、検査を受けていないと排水される水質が悪くなる。千葉県は全国的にみて一番検査を受けていない。

・環境像などにある「安心して暮らせるまち」は、環境がいいと安心して暮らせるという表現であるが、犯罪が少ないと安心して暮らせるということでもあり違和感がなければいいが。

⇒第1次では将来像としていたところで、将来像は広い意味で捉えられてしまうので、第2次ではあえて環境像としたことから「安心して」は環境に限ったこととしている。

・浄化槽の勉強会に行ったことがあり、合併浄化槽は、車の排気ガスと同じと聞いたことがある。きちんと定期点検しなければ汚れたものが排出されるというものだった。

・さまざまな勉強会というものもあっていいのでは。

・地球温暖化防止対策は、こまめに電気を消すなど節電を呼びかけるのが効果があり、自分達も電気料が安くなる。LED化も費用対効果で長く使うところを変更して行く。東電の請求書には、前年度対比が表示されるように市全体でも状況が分かるものが周知できればみんなの意識向上につながる。市ではどのようなことを行っているのか。

⇒たとえば、昼休みなど一部を消灯するなど行っている。

・環境コミュニティのところで各種情報発信を行っていければいい。

・自分からのまとめの意見として、計画には大きな目標や個別施策があり、うまくまとめられているが、行政側が中心となって進めていくのか、推進のところで市民、事業者と連携してとあるのでこれを進めていくのか、この辺が計画の中でもう少し見えてくればと思う。行政ががんばってしまって、市民は行政がやるから着いて来いとなってしまっているのではなく、目標のなかにもひとりひとりが実行するまちづくりとあるように、みんなが一緒になることが重要。環境像を実現していくためには、地元企業などとそれぞれの役割を持ち、繋がり合っって多様なパートナーシップを築いていけるようになっていければと思います。こういうことが個別メニューの中にもう少し見えてきてもいいのでは。

・団体がいろいろな活動を行っているが、ひとつにまとまっていけば環境問題は少し前進するものと思います。

・環境が改善すれば親が子どもを大網白里市に呼ぶなど市の人口の減少も止められるのではないか。

(2) その他  
なし

【4 閉会】